

初年次教育・教養教育

鹿児島大学共通教育センター○○部門

専任教員応募書類

准教授

希望職名： ○ ○

上記職名で応募します。

年 月 日

氏名 _____ 印

履 歴 書

(年 月 日現在)

フリガナ 氏 名		性 別		国 籍		写真貼付
生年月日	年 月 日 (満 歳)					
現 住 所	〒 ー		電話 () ー FAX () ー Email :			
勤 務 先	〒 ー		電話 () ー FAX () ー Email :			
学 歴						
年 月	事 項					
年 月	【学位・称号】 1997 年 3 月 学士 (〇〇大学) 1999 年 3 月 修士 (〇〇学) (〇〇大学 〇〇第〇〇〇号) 2004 年 12 月 博士 (〇〇学) (〇〇大学 〇〇第〇〇〇号)					

職 歴 （ 教 育 歴 ）	
年 月	事 項
年 月	
2005 年 4 月	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 特任助教 採用
2005 年 4 月	私立〇〇大学 〇〇学部 非常勤講師 採用
2006 年 3 月	私立〇〇大学 〇〇学部 非常勤講師 任期満了
2007 年 3 月	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 特任助教 辞職
2007 年 4 月	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 講師 採用（現在に至る）
免許、資格及び外部検定試験（スコア等）	
年 月	事 項
年 月	
賞 罰 ・ 処 分 歴 等	
年 月	事 項
本書類の記載内容については事実と相違ありません。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。 年 月 日 氏名 （自署）	

【記載上の注意】

- ※職歴（教育歴）の欄には、最終学校卒業等の月の翌月から、空白期間がないように記入すること。
なお、在宅期間については、「在家庭」と記入すること。
- ※賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

業 績 調 書

氏 名 (自署)	
-------------	--

I 教育業績

教育上の業績 に関する事項	年月又は期間	概 要
1. 大学（高等教育）における教育指導の改善への積極的貢献	○年○月 ○年○月 ○年○月 ○年○月	<u>教科書の出版、教育実践に関する報告書の作成等</u> ・教養教育科目「○○」で使用する教科書○○○を共同執筆者し、○○社より出版した。 ・必修科目「○○」において、アクティブ・ラーニングを導入した授業を実践し、○○報告書としてまとめた。 <u>高等教育実践に関する研修等</u> ・○○○に関する FD 研修会を企画した。 <u>正課外における高等教育実践等</u> ・指導している○○サークルが、○○大会で金賞を受賞した。
2. 大学（高等教育）における教育指導の実績	○年○月～ ○年 3 月 ○年度 ○年度 ○年度 ○年度 ○年度 ○年度	<u>大学において授業を担当した年数</u> ・共通教育：○年○月 ・○○学部教育：○年○月 <u>担当授業科目名と受講者数</u> ・共通教育：初年次セミナー I（36 名）、…… ・○○学部：○○○論（20 名）、…… ・○○研究科：○○○特論（5 名）…… ・共通教育：○○学入門（200 名）…… ・○○学部：○○○概論（30 名）…… <u>高大接続、入試への貢献</u> ・○○高校で出前授業○○○を実施した。 ・個別入試試験で○○○の問題を作成した。 <u>卒業研究・修士論文・博士論文の指導学生数</u> ・○○学部卒業研究○名 ・○○研究科修士論文○名 ・○○研究科博士論文○名
3. 大学（高等教育）における教育指導上の努力点	○年度	<u>教育改善に関する取り組み</u> ・教養教育科目「○○」で manaba を活用し、自学自習を促進した。
4. その他		該当なし

Ⅱ 研究業績

1. 論文

番号、著者、タイトル名、発表誌、巻・号（年月） pp.～、査読の有無

※最新のものから順次発表年を遡って記載してください。

※ 主要論文3編以下については、タイトル名にアンダーラインを引き、別刷（コピー可）および論文概要を添付してください。英文の論文については、巻・号（年月）の部分は英語表記にしてください。

2. 著書

番号、著者、書名、出版社名、発行年月

※最新のものから順次発表年を遡って記載してください。

3. 口頭発表

番号、発表者名、タイトル名、発表学会の名称、発表年月、選考審査の有無

※最新のものから順次発表年を遡って記載してください。

4. 特許

番号、発明者、発明の名称、出願国、出願番号（出願年月日）、公開番号（公開年月日）、公告番号（公告年月日）、登録番号（登録年月日）

5. 学術賞

番号、受賞者、受賞タイトル名、授与者名（団体名）、受賞年月

6. 研究助成

番号、申請者、研究課題名、助成金の名称（資金提供者）、助成期間、金額

※ 研究代表者の場合は、本人申請者名にアンダーラインを引いてください。

7. その他（上記のいずれにも分類できない研究活動）

Ⅲ 管理運営・社会活動

1. 学内（所属組織内）における委員会活動等

- (例)・〇〇〇〇大学〇〇委員会委員（2012 年度～2014 年度）
・〇〇〇〇大学〇〇委員会委員（2014 年度～2016 年度）

2. 学外（所属組織外）における委員会活動等

- (例)・〇〇〇〇県〇〇委員会委員（2012 年度～2013 年度）
・〇〇〇〇市〇〇委員会委員（2016 年度～2019 年度）

3. 学会活動等

学会における委員等

- (例)・〇〇〇〇学会全国大会〇〇委員（2012 年度）
・〇〇〇〇学会九州支部〇〇委員（2014 年度）

現在の所属学会

- (例)・〇〇〇〇学会（2009 年度～現在）
・〇〇〇〇学会（2010 年度～現在）

4. その他（上記のいずれにも分類できない管理運営・社会活動等）

論 文 概 要

氏 名	
-----	--

タイトル名：
著者：
概要：
タイトル名：
著者：
概要：
タイトル名：
著者：
概要：

- 1. A 4 横書き（フォントサイズ 10.5 ポイント）で記載して下さい。
- 2. 論文の概要を 500 字以内にまとめて記載すること。なお、著者が複数人の場合は、貢献の度合もしくは本人担当部分について説明を行うこと。

大学教育についての意見と抱負及び共通教育センター着任後の活動の展望

氏 名	
-----	--

--

※ A 4 横書き（フォントサイズ 10.5 ポイント） 1 枚程度で記載して下さい。

参考となる意見の問い合わせ先

応募者氏名	
-------	--

【 問い合わせ先 1 】

氏 名	
所 属	
職 位	
住 所	
電 話 番 号	
Email	

【 問い合わせ先 2 】

氏 名	
所 属	
職 位	
住 所	
電 話 番 号	
Email	

※ 応募書類の個人情報については適正に管理します。

履歴書・業績調書の記入要領

共通事項

1. 用紙はA4版縦長、横書きとする。
2. 字体は、明朝体で、フォントサイズ10.5ポイントとする。
3. 年号は西暦を用いる。
4. 青字は例示であり、調書作成の際は削除する。
5. 適宜行追加して記入のこと。

応募書類表紙

1. 応募する職名を記入する（採用希望職名は、複数職名記入可。）。
2. 氏名は直筆とし、押印すること。

履歴書

1. 年齢は、採用予定日現在で記入すること。
2. 学歴は、高等学校卒業以降全て記入すること。外国の学校名は英文表記等でよい。
3. 学位・称号は全て記入すること。
(例) ○○学士(○○大学)、修士(○○学)(○○大学 ○○第○○○号)
博士(○○学)(○○大学 ○○第○○○号)
4. 職歴は一機関における在職状況を明確に記入し、以下のとおり統一する。
(例) ○○○○年○○月 ○○○○採用／入社／勤務
○○○○年○○月 同上 辞職／退職
5. 写真は申請時3ヶ月以内のものを貼付すること。
6. 署名は直筆とすること。

業績調書

1. I教育業績、II研究業績、III管理運営・社会活動の項目毎にページを改めること。
2. I教育業績について
記入例を参考にして「教育上の業績に関する事項」の4項目について時系列で記入すること。
 - ① 大学(高等教育)における教育指導の改善への積極的貢献
 - (ア) 作成した教科書・教材、高等教育における教育実践に関する調査・実践報告等
 - (イ) 高等教育実践に関する研修(ファカルティ・ディベロップメント活動への参加大学の授業研究会への授業公開、大学教育実践に関する研究プロジェクトへの参加)等
 - (ウ) その他正課外における高等教育実践(外国語ラウンジ、大学におけるクラブ活動指導、留学生指導を含む。)に関わる顕著な業績等

② 大学(高等教育)における教育指導の実績(センター所属の教員にあつては、当該センター業務を含む。)

(ア) 大学において授業を担当した年数

(イ) 担当授業科目名と受講者数

(ウ) 高大接続、入試への貢献

(エ) 卒業研究・修士論文を指導した学生数

(オ) その他

③ 大学(高等教育)における教育指導上の努力点

(ア) 特に行っている授業改善に関する取り組み

④ その他

(ア) 大学(高等教育)における教育経験を有しない者にあつては、詳細なシラバスや担当予定の授業科目の展開構想等

(イ) 大学(高等教育)以外における教育活動等

3. II 研究業績について

① 論文は、最新のものから順次発表年を遡ってすべてについて記入すること。著者が多数の場合は、主な著者を記入し以下は省略可能とする。ただし、省略する場合は外○人と人数を記入し、申請者本人が何人中何番目であるか明示すること。また、責任著者の場合はその旨明示すること。

② 主要論文3編以下においては、タイトル名にアンダーラインを引き、別刷（コピー可）及び③の論文概要を添付すること。

③ 論文概要は、主要論文3編について、概要を500字以内にまとめて記入すること。なお、著者が複数人の場合は、貢献の度合若しくは本人担当部分についての説明を行うこと。

④ 著書、口頭発表は最新のものから順次発表年を遡って記入すること。

⑤ 特許は、該当する事項について記入すること。

⑥ 学術賞は、学会の論文賞等学術で貢献したことに対する受賞について記入すること。

⑦ 研究助成は、科学研究費補助金、産学連携研究等競争的資金などの取得状況、及び共同研究、受託研究について記入すること。また、本人が研究代表者であれば、本人申請者名にアンダーラインを引くこと。

⑧ 上記項目で該当のない事項については、“該当なし”と記入すること。

⑨ その他は、上記のいずれにも分類されていない研究活動で、自己PRの必要があると判断される事項について記入すること。

4. III 管理運営・社会活動について

① 学内（所属組織内）における委員会活動等について記入すること。

（例）教育機関に所属している場合の記入事例

- ・ 学長から指名された役職等（副学長、学長補佐等（期間））
- ・ 入学試験業務への参画状況（個別試験出題委員、採点委員（年度））
- ・ 学部、学科内等の委員経歴（学科長、教務委員、FD 委員、自己点検評価委員、学生生活委員、広報委員、ネットワーク委員、国際交流委員、施設整備検討委員（期間）など）

（例）企業等に所属している場合の記入事例

- ・ 企業等における職階で、教育機関における委員と同等と思われる諸活動について記入する。

② 学外（所属組織外）における委員会活動等は、国又は地方公共団体等の委員会活動等について記入すること。

③ 学会活動等は、所属学会における委員の経歴、国際大会、全国大会、支部大会等における座長等の経歴を記入すること。

④ その他は、上記のいずれにも分類されていない管理運営・社会活動で、自己PRの必要があると判断される事項について記入すること。